

## 指定管理者評価シート

事業名	さとらんど運営管理費	所管課(電話番号)	経済観光局農政部農政課(211-2406)
-----	------------	-----------	-----------------------

### I 基本情報

1 施設の概要			
名称	札幌市農業体験交流施設(さとらんど)	所在地	札幌市東区丘珠町584番地2
開設時期	平成7年(1995年)7月22日	延床面積	743,000m <sup>2</sup> (管理面積569,000m <sup>2</sup> )
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業に対する市民の知識及び理解を深める。</li> <li>・市民文化の向上及び農業の振興のため、憩いの場を提供する。</li> <li>・縄文文化への市民の関心を高める。</li> </ul>		
事業概要	農業に関する体験実習の場の提供、緑とのふれあい、憩う場の提供等		
主要施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さとらんどセンター(農産・畜産加工室、視聴覚室、キッズコーナー、売店、レストラン他)</li> <li>・さとらんど交流館(多目的ホール、調理室、会議室)</li> <li>・市民農園 各種体験農場 ふれあい牧場</li> </ul>		
2 指定管理者			
名称	さとらんどfanコンソーシアム(横浜植木株式会社北海道支店、株式会社JFEテクノス、株式会社アドワンファーム、株式会社Jファーム)		
指定期間	令和5年(2023年)4月1日から令和10年(2029年)3月31日		
募集方法	公募		
指定単位	施設数: 1施設 複数施設を一括指定の場合、その理由:		
業務の範囲	施設・設備等の維持に関する業務、農業体験に関する業務、緑とのふれあい、憩うことのできる場を市民に提供する業務、農業者と消費者の交流の場を提供する業務、都市型農業を活性化させるための業務、農業に関する情報の収集・提供業務、農業に関する研修講習等の場の提供業務、使用承認等に関する業務、その他さとらんど設置目的を達成するため必要な業務		
3 評価単位	施設数: 1施設 複数施設を一括評価の場合、その理由:		

### II 令和5年度管理業務等の検証

項目	実施状況	指定管理者の自己評価	所管局の評価				
1 業務の要求水準達成度							
(1)統括管理業務	▼ 管理運営に係る基本方針の策定 私たちは、「農ある暮らしを未来へつなぐ」ことを管理運営の大方針といたしました。大方針実現のための5つの目標は、1市民の農的体験活動の推進 2市民と農業者の交流機会の創出 3農業者、関係機関、消費者の相互理解 4施設の魅力向上などによる市民サービスの向上 5徹底したコスト管理による経費の削減としております。 大方針実現のために、さとらんどfan運営委員会を設け、4社のほかに食科学・食育のプロフェッショナル荒川義人氏、農と食に関する産官学連携スペシャリスト李斉民氏などを迎え、助言を受けました。	方針に則り、適切な管理運営を行った。	<table border="1" style="display: inline-table; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">A</td> <td style="width: 25%; background-color: #ffff00;">B</td> <td style="width: 25%;">C</td> <td style="width: 25%;">D</td> </tr> </table>	A	B	C	D
	A		B	C	D		
▼ 平等利用に係る方針等の策定と取組実績 私たちは、地方自治法第244条第2項、第3項を遵守し、正当な理由なくして拒まない、不当な差別的扱いはしないとの方針で、全スタッフに対する教育を行い運営を進めました。 具体的には ・外部講師を招いた接遇、バリアフリー講習の実施 ・ペットの持ち込み、スケートボード走行に対する直接的な指導 ・受付に、コミュニケーションボードの設置 ・車いすの設置、貸出し ・HPへの障がい者への利用料金の割引のお知らせ ・「広報に関する色のガイドライン」に沿った印刷物の作成 ・wi-fiエリアの増設による、情報の獲得しやすさの向上など	平等利用について、公平・公正な運営を行った。	さとらんどにおける平等利用を確保するための方針に基づき、各取組を実施することで公平・公正な運営を確保したものと評価する。					

<p>▽ 地球温暖化対策及び環境配慮の推進</p> <p>具体的な取組内容は</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・再生紙の購入、両面コピーによる紙削減</li> <li>・環境配慮型製品の購入</li> <li>・冷房時は室温設定28℃</li> <li>・各室内の消灯</li> <li>・LED照明への転換</li> <li>・暖房時の室温設定は20℃</li> <li>・電動草刈り機の使用</li> <li>・太陽光を利用したロボット草刈り機の稼働</li> <li>・ドライブクーター搭載によるエコ運転の推進</li> <li>・芝草刈りなど植物残渣の堆肥化</li> <li>・糞尿敷き藁の堆肥化</li> <li>・剪定枝のチップ化と牧場への利用</li> </ul>	<p>環境配慮の取り組みを職員へ共有し、省エネに努めた。</p> <p>また、来園者へ節水などの働きかけを行い、ご協力頂いた。</p>	<p>各取組を行ったことでエネルギー使用量を必要最低限に留めよう努めたことを評価する。</p> <p>また、太陽光を利用した草刈機を導入するなど、独自に環境に配慮した取組を進めたことを高く評価する。</p>
<p>▽ 管理運営組織の確立(責任者の配置、組織整備、従事者の確保・配置、人材育成)</p> <p>▶責任者の配置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・統括管理責任者1名及び代理2名を配置(それぞれ指定管理経験者、専門技術者などの要資格者)</li> </ul> <p>▶組織整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総務、企画、手づくり、農園、緑地維持、レク担当など8部門にわけ、それぞれにリーダー、チーフを配置</li> </ul> <p>▶従業員の確保・配置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スタッフの採用は、過年度指定管理従事者のうち希望者を採用</li> <li>・その他、情報誌による募集</li> <li>・売店の従業員は、障がい者施設の利用者を採用</li> </ul> <p>▶人材育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マナー教育の実施</li> <li>・組織力向上のための外部講師による講習</li> <li>・各部門の現場でのOJTの実施</li> <li>・衛生関連、緑地維持関連の専門技術資格の取得</li> <li>・救命講習の実施</li> </ul>	<p>責任者、チーフ、リーダーを配置し、フォロワーを構築し、サービスを提供した。</p> <p>また、人材育成のため各種研修を実施した。</p>	<p>指定管理者の更新(事業者の変更)に伴い、新しい体制での管理運営となったが、前指定管理者従事者を積極的に採用し、事業者の変更による市民サービスの低下が生じないよう努めたことを評価する。</p> <p>また、サービス・業務品質の向上のために、職員の教育・研修に積極的に取組むなど管理運営組織の強化・資質の向上に努めていたことも評価する。</p>
<p>▽ 管理水準の維持向上に向けた取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報共有、情報伝達の方法の取り決め</li> <li>・苦情処理簿の作成</li> <li>・救命講習、避難訓練の実施</li> <li>・アンケート結果の見直し</li> <li>・定期的なスタッフミーティングの実施</li> <li>・PDCAサイクルを活用した見直しの取組</li> <li>・OJTの実施など</li> </ul>	<p>毎日朝礼や定期的なミーティングにより情報を共有し、業務の進捗や来園者の安全利用について対応した。</p>	<p>利用者サービス向上を目指し、管理水準の維持向上に努めたことを評価する。</p> <p>引き続き、問題が生じた場合の、札幌市への報告なども適時行うこと。</p>
<p>▽ 第三者に対する委託業務等の管理(業務の適正確保、受託者への適切監督、履行確認)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・建築、電気、機械などの設備点検は専門業者へ委託</li> <li>・出来高確認、履行確認の実施</li> <li>・チーフ、リーダーによる検査の実施</li> <li>・元気ジョブの活用による障がい者団体への委託</li> <li>・コンソーシアム最低賃金1050円と同額以上の時給の確認</li> <li>・再委託の指定管理側の責任者はマネージャー</li> </ul>	<p>仕様書に基づいて適切な業務遂行を行うとともに、委託にあたっては市内業者の積極的な活用や障がい者団体への委託に配慮して行った。</p>	<p>業務の適正確保、適正監督、履行確認を実施したものを評価する。</p> <p>市内業者の積極的な活用や障がい者団体への委託、委託業務従事者の適正給料の確認に努めたことを評価する。</p>

▽ 札幌市及び関係機関との連絡調整(運営協議会等の開催)

開催回	協議・報告内容
第1回 4月19日	・メンバー紹介 ・年度計画書の承認、確認 ・イベント計画 ・夏期営業準備状況
第2回 6月21日	・月次報告(入場者数、売り上げ) ・イベント実施報告、計画説明 ・新規事業の説明(冬期レク、デイキャンプ)
第3回 8月23日	・月次報告(入場者数、売り上げ) ・交流館改修工事概要 ・第5駐車場車列問題 ・モエレ花火大会の対応
第4回 10月18日	・月次報告(入場者数、売り上げ) ・売店工事延期 ・賃金スライドの導入 ・夏季営業の延長 ・記念植樹の準備
第5回 12月20日	・月次報告(入場者数、売り上げ) ・サウンディング説明 ・財務業務検査 ・個人情報保護 ・冬期イベント(大鍋、イルミネーション)
第6回 2月14日	・月次報告(入場者数、売り上げ) ・イベント実施報告 ・財務業務検査結果 ・支援センターの利用計画 ・令和6年度業務計画 ・次年度採用計画、第3者委託
<p>&lt;協議会メンバー&gt; 札幌市農政部農政課: 高本課長、川畑係長、稲田係長、山田係員、内野係員</p> <p>さとらんどfanコンソーシアム: 喜多支店長、佐々木マネージャー、田中サブマネージャー、中島サブマネージャー、関係各チーフ</p>	

管理水準の維持・向上のため、2ヶ月に1回運営協議会を実施した。その他、毎月札幌市へ管理業務の状況報告を行った。また、必要に応じて札幌市と打合せを実施し、管理水準の維持・向上に向けた取り組みを遅滞なく実施できた。

定期的に運営協議会を実施し、業務報告や連絡事項及び管理運営上の問題点などを協議し、業務の改善が行われていたことを評価する。また、管理運営水準の維持向上への取組を継続していることを評価する。

▽ 財務(資金管理、現金の適正管理)

- ▶ 資金管理
  - ・管理業務と自主事業の区分経理、預金口座
  - ・利用料金に対応した釣り銭準備
- ▶ 現金の適正管理
  - ・現金取り扱い規定の整備と遵守
  - ・月1回の内部定期検査の実施
  - ・通帳の厳重保管の実施
  - ・不祥事対策委員会の設置

指定管理業務と自主事業の区分経理を実施した。また、現金の適正管理は規制整備、内部定期検査を行い、管理取扱を行った。

資金・現金の管理について、適正に行われていたことを評価する。

▽ 要望・苦情対応

- ▶ 対応の具体的仕組み
  - ・苦情処理対応表の作成
  - ・傾聴と状況の確認
  - ・改善内容の検討と実行
  - ・市への結果報告
- ▶ 苦情内容→対応
  - ・9月1日 炊事広場場所取りのために生ずる、第5駐車場入口での渋滞解消  
→朝8時から開門し、9時まで駐車場にて待機いただくことに
  - ・9月17日 牧場スタッフの馬に対する厳しい対応  
→動物愛護につきスタッフへの厳重注意
  - ・1月27日 レンタサイクル屋根からの落雪によるミラー破損  
→レンタサイクル横の通路の閉鎖(駐車場出入り口の変更)
  - ・1月28日 さとの雪山でのそり衝突事故  
→加害者が立ち去り不明、簡単な傷の手当の実施
  - ・2月17日 2階レストランの揚げ物がしっかり揚がっていない  
→揚げ物の中心温度の計測、食中毒菌の検査

要望・苦情に対して問題に解決に迅速に対応し、札幌市へ報告した。

苦情・要望への対応、札幌市への報告について、適正に行われていたことを評価する。苦情申出が発生しないよう、日々業務を適正に行うよう心がけること。

	<p>▽ 記録・モニタリング・報告・評価(記録、セルフモニタリングの実施、事業報告、札幌市の検査等への対応、自己評価の実施)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運営管理業務の記録をスタッフ全員にて共有し、管理運営に活用</li> <li>・講座やイベントの満足度の測定を実施</li> </ul> <p>満足度の目標値と集計結果 目標値はそれぞれ90% 集計結果(2124件) 総合満足度 92.7% 接遇に関する満足度 92.2% 各種体験・講座等に関する満足度 95.4% イベントに関する満足度 87.5% ・札幌市農政部による業務財務検査の実施</p>	<p>仕様書で定められた書類を適切に記録・保管した。各種アンケートにより、セルフモニタリングを実施した。</p>	<p>適正に記録、報告が行われたほか、アンケート等のセルフモニタリングもイベントごとに随時積極的に実施したことを評価する。</p>								
<p>(2)労働関係法令遵守、雇用環境維持向上</p>	<p>▽ 労働関係法令遵守、雇用環境維持向上(事故の有無などの安全衛生面を含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設で働く職員に対し、最低賃金960円(令和5年10月1日発行)を上回る1050円以上の時給を支給した。</li> <li>・施設で働く職員に対し、時間外労働・休日労働をさせた場合、それぞれ法定割合以上の割増賃金を支払った。</li> <li>・4月に就業規則の改正を行い、労働基準監督署に届け出た。</li> <li>・施設で働く職員は、1週37.5時間、1日7.5時間を順守した。</li> <li>・施設で働く職員に、時間外労働又は休日労働させる場合は、書面による労使協定(36協定)により必要な定めをし、労働基準監督署に届け出た。</li> <li>・全ての労働者を労災保険に、条件を満たす労働者を雇用保険に加入させた。</li> <li>・労働者の勤務形態、家族状況等に応じて年金保険、医療保険に適切に加入させた。また、必要に応じて年金保険、医療保険に適切に加入させた。また、必要に応じて適切に届け出等を行った。</li> <li>・1年に1回定期健康診断を実施した。</li> </ul> <p>適正に記録、報告が行われたほか、アンケート等のセルフモニタリングもイベントごとに随時行い、運営協議会に速やかに報告が行われたこと等を評価する。</p> <p>・衛生委員会を発足し、月1回開催し、職員の労働環境の向上に努めた。また、産業医の職場巡視を2か月に1回実施し、安全衛生の向上に努めた。</p> <p>・メンタルヘルスチェックを実施し、職員の疲労度などを計測し、適正な勤務時間となるよう努めた。</p>	<p>労働関係法令を遵守し、必要書類の届出を適切に行った。 雇用環境の維持向上、健康維持・労働災害防止に努めた。</p>	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td colspan="4"> <p>労働関係法令を遵守し、監督官庁への届出など適切に行われていることを評価する。従業員に対しての各チェックなど、雇用環境維持向上に努めたことを評価する。</p> </td> </tr> </table>	A	B	C	D	<p>労働関係法令を遵守し、監督官庁への届出など適切に行われていることを評価する。従業員に対しての各チェックなど、雇用環境維持向上に努めたことを評価する。</p>			
A	B	C	D								
<p>労働関係法令を遵守し、監督官庁への届出など適切に行われていることを評価する。従業員に対しての各チェックなど、雇用環境維持向上に努めたことを評価する。</p>											
<p>(3)施設・設備等の維持管理業務</p>	<p>▽ 総括的事項(利用者の安全確保、市民サービス向上への配慮、連絡体制確保、保険加入)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶利用者の安全確保</li> <li>・衛生委員会による週1回の巡視、安全班による毎日の巡回(特に木製遊具)、産業医による職場巡回により確保した。</li> <li>市民サービスの向上への配慮</li> <li>・アンケート調査による気づきにより、改善点を洗い出し、施設の安全面や接遇などに配慮した。</li> <li>▶連絡体制確保</li> <li>・連絡体制図を掲示し、緊急時に24時間連絡できる体制を整えた。また、夜間等は警備員が常駐しているため、安全面でも万全な体制を整えている。</li> <li>▶保険加入</li> <li>・仕様書で示された、第三者賠償保険のほか、イベント保険、什器の火災保険、冬レクの賠償保険に加入した。</li> </ul>	<p>園内の巡視を行い、利用者の安全確保に努め、維持・管理を行った。今年度末に新しい車椅子を配置し、屋内用に従来型のを継続して使用し、貸出し台数を増やした。</p>	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td colspan="4"> <p>市民サービスの向上につながるよう、管理体制の構築と維持に努めていることを評価する。市民ニーズに答え、車イス貸出し場所を増やすなど、市民サービス向上に努めていた。緊急対応や保険への加入など事故等発生時への備えが十分行われていることを評価する。</p> </td> </tr> </table>	A	B	C	D	<p>市民サービスの向上につながるよう、管理体制の構築と維持に努めていることを評価する。市民ニーズに答え、車イス貸出し場所を増やすなど、市民サービス向上に努めていた。緊急対応や保険への加入など事故等発生時への備えが十分行われていることを評価する。</p>			
A	B	C	D								
<p>市民サービスの向上につながるよう、管理体制の構築と維持に努めていることを評価する。市民ニーズに答え、車イス貸出し場所を増やすなど、市民サービス向上に努めていた。緊急対応や保険への加入など事故等発生時への備えが十分行われていることを評価する。</p>											

<p>▶清掃</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・さとらんどセンター、交流館など仕様書に基づき毎日清掃を実施した。</li> <li>・ガラス清掃などは、定期清掃を実施した。</li> <li>・事業系一般廃棄物や産業廃棄物は、専門業者に依頼し実施した。</li> </ul> <p>▶警備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・仕様書に基づき、夜間及び年末年始の常駐警備を実施した。</li> </ul> <p>▶保守点検</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・建築保全業務共通仕様書に基づく建物内外の点検、及び建築基準法12条点検を実施した。</li> </ul> <p>▶修繕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小便器電磁弁、散水栓、小便器センサーの修理</li> <li>・天井ロスナイ修理、照明器具交換、時計部品交換、給水管水漏れ修理、ドア鍵修理</li> <li>・イベント盤交換、消火器交換、散水栓修理</li> <li>・吸収冷温水器修理、食器洗浄機排水修理</li> <li>・SL車庫オーバースライダー修理</li> <li>・まきばの家鍵・引き戸調整など</li> </ul> <p>▶備品管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市から示された備品台帳に基づき、各現場により備品の状態を確認した。使用不能のものについては、台帳から削除した。</li> </ul> <p>▶駐車場管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設内に7か所の駐車場があり、区画線不明のものについては、表示しなおした。</li> <li>・GWなど混雑が予想される場合は、警備員を配置して対応し、混乱を避けた。</li> <li>・冬期間は、3か所の開放にとどめ、進入の表示の工夫に努めた。</li> </ul> <p>▶緑地管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・さとらんどセンター正面の2か所の広場についてはロボット草刈り機を夜間稼働し、常に良好な芝生の状況の維持に努めた。</li> <li>・一部草刈り機を電動化し、騒音の軽減に努めた。</li> <li>・施設内主要か所に、花壇を設け、四季の演出を行った。</li> <li>・団体利用に配慮し、計画的に管理作業を進めた。</li> <li>・刈り草の堆肥化に努めた。</li> <li>・さとらんどガーデンの再整備に着手した。</li> </ul> <p>▶飼養動物管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「動物の愛護及び管理に関する法律」ほかの規則に基づき、動物取扱業の登録を実施した。</li> <li>・家畜舎、厩舎など衛生的な環境の維持に努めた。</li> <li>・家畜などの予防接種など、獣医による定期診察を実施した。</li> <li>・エサやり体験が来園者に頗る好評であった。</li> <li>・飼育動物の糞尿、敷き藁は、堆肥化を行い、畑に利用した。</li> </ul>	<p>施設・設備等の維持管理は仕様の水準を達成した。</p> <p>利用者のレクリエーションの場、憩いの場となるよう園内の清掃・芝生等の管理に努め、良好な環境を維持した。</p> <p>開設(平成7年)より二十数年経過しており、施設や設備が老朽化しているので、安全確保に向けてこまめに点検し、修繕対応を迅速に行った。</p> <p>備品を適切に管理し、結果を札幌市に報告した。</p> <p>施設の衛生管理を計画的に行った。また、家畜の健康状態を適宜確認し、飼育を行った。</p> <p>防災訓練・安全講習・救急連絡対応を行い、防災体制を強化した。</p>	<p>仕様書で規定する管理水準に基づいた管理を行っていた。</p> <p>駐車場の区画線の改修や施設のLED化、緑地管理におけるロボット草刈機の導入など、より適切な維持管理を達成するよう企画し、実施したことを評価する。</p> <p>飼養動物管理について、適正に行われていたことを評価する。市民に喜ばれるよう工夫した飼養動物管理を行っていたことを評価する。</p> <p>日頃から防災体制の確立に努めていたことを評価する。</p>
<p>▽ 防災</p> <p>▶防災訓練・安全講習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夏期営業前、冬期営業前にそれぞれ、避難訓練と消火訓練を実施した。</li> <li>・普通救命講習会を実施した。</li> </ul> <p>▶AEDの配備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・さとらんどセンター、交流館、パークゴルフ受付の3か所に配備した。</li> </ul> <p>▶消防法への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・センター、交流館ともに有資格者による消防点検を実施し、東消防署長へ届け出た。</li> </ul>		

<p>(4)事業の計画・実施業務</p>	<p>▽ 農業に関する体験学習機会の提供業務</p> <p>▶体験農園</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・収穫体験日数は、5月～11月で139日間(対前年度比116%)、参加人数は、合計41,765人(対前年度比80%)、体験料金は、6,473,590円(対前年比89%)だった。</li> <li>・収穫体験参加者用スタンプカードは、500円分の収穫体験で1ポイントスタンプを押す形でスタンプカードを2,200枚発行した。10ポイント貯まると旬の農産物と交換した。223枚のスタンプカードが交換対象となった。ポイントを意識して収穫体験をするお客様が多く、野菜詰め合わせや米と交換するお客様が目立った。</li> </ul> <p>▶栽培収穫加工体験、収穫加工体験、栽培収穫体験</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「うるち米コース」「サツマイモ」「ジャガイモ」「タマネギ」コースなど、8コースを4月下旬～10月下旬で実施した。</li> <li>▶学校教育等との連携業務(総合学習業務)</li> <li>・農業体験は、44校が参加した。(令和4年度40校、対前年度比4校増)、参加人数は、2,042人だった。(令和4年度2,381人、対前年度比339人減)</li> <li>・水田体験は、7校が参加した。(令和4年度9校、対前年度比2校減)、参加人数は、517人だった。(令和4年度510人、対前年度比7人増)</li> </ul> <p>▶市民農園</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4月から11月の期間、1区画50㎡を196区画、市民の利用に供した。</li> <li>・有効応募者数382件(対前年度比86%)</li> <li>・有効倍率は、1.92倍であった。(対前年度比84%)</li> <li>▶市民農園利用者サポート</li> <li>・市民農園利用期間中に8回、現地での栽培講習会を実施した。(参加人数は185人)</li> </ul> <p>▶手づくり体験</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・60人まで入室できる農産加工室での団体受け入れ、主にソーセージ作り体験を実施した畜産加工室、30人まで入室できる料理実習室を使用したバター作りなど、通年のバター作り、夏期営業期間のアイスクリーム作り・ソーセージ作り、冬休みからのミニバフェづくり体験を企画、実施した。</li> </ul> <p>・夏期と冬期、平日と土曜日、日曜日、祝日は、来園者の数により開催頻度や体験内容を変更しながら実施した。</p> <p>・さとらんど職員によるさとの講座は、食べ物の旬や季節感のあるピザづくり、肉まんづくり、もちづくり等、親子で参加できる講座を実施した。</p>	<p>収穫体験は、仕様の水準に従い実施した。8月単月は30℃を超える気温が22日(対前年度は1日)あり、参加人数9,494人(対前年度は22,758人)と前年を大きく下回った。</p> <p>栽培・収穫・加工体験業務を仕様の水準に従い、8コースで実施した。参加組数の定員は全てのコースで満員となった。</p> <p>仕様書の水準を達成して適切な管理・運営を行うとともに、栽培指導等を充実させて利用者アンケートで高い評価を得た。</p> <p>手づくり体験参加者は14,099人で前年度比146%(4,450人増)。講座参加者は2,554人で前年度比143%(770人増)となった。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>適切な圃場管理の実施、スタンプカードの作成など、収穫体験者数の増に向けた取り組みを行ったことを評価する。</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>体験講座の申込数が全コース満員であるなど、魅力ある体験講座を実施していることを評価する。</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>利用者ニーズを適切にとらえ、新講座の開講、開催日時を変更するなど、市民サービスの向上に努めたことを高く評価する。</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	適切な圃場管理の実施、スタンプカードの作成など、収穫体験者数の増に向けた取り組みを行ったことを評価する。				体験講座の申込数が全コース満員であるなど、魅力ある体験講座を実施していることを評価する。				利用者ニーズを適切にとらえ、新講座の開講、開催日時を変更するなど、市民サービスの向上に努めたことを高く評価する。			
	A	B	C	D															
適切な圃場管理の実施、スタンプカードの作成など、収穫体験者数の増に向けた取り組みを行ったことを評価する。																			
体験講座の申込数が全コース満員であるなど、魅力ある体験講座を実施していることを評価する。																			
利用者ニーズを適切にとらえ、新講座の開講、開催日時を変更するなど、市民サービスの向上に努めたことを高く評価する。																			
<p>▽ 緑とふれあい、憩うことのできる場の提供業務</p> <p>▶パークゴルフ場</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3コース27ホールの運営を実施した。</li> <li>・料金は大人300円など、前年より大幅な値下げを実施した。</li> <li>・体育の日などの、無料開放を実施した。</li> <li>▶SLバス</li> <li>・ポテト号、オニオン号の2台体制で実施した。</li> <li>・通常30分ごとの運行のところ、土日祝、夏休み中は、15分間隔で運行した。</li> <li>▶引き馬</li> <li>・馬の健康に留意しながら、実施した。</li> <li>・1周5分程度の運行とした。</li> <li>・新たに1頭リースし、4頭体制で実施した。</li> <li>▶馬車</li> <li>・午前3回、午後4回、1周15分で運行した。</li> <li>・新たに1頭リースし、重種馬2頭で実施した。</li> <li>▶レンタサイクル</li> <li>・2輪車1時間100円、4輪車1時間300円にて貸出した。</li> <li>▶炊事広場</li> <li>・利用時間は9時から16時、無料開放を実施した。</li> <li>・業務開始前に清掃を実施した。</li> <li>・場所取りなど迷惑行為を注意した。</li> </ul>	<p>仕様書に基づき適切な管理・運営を行い、前年と比較しパークゴルフを除き、利用者数は増加した。</p>	<p>仕様書に基づき適正な管理を行い、またパークゴルフ場使用料金を値下げするなどの市民サービス向上に努め、利用者数増となったことを評価する。</p>																	

<p>▽農業者と消費者の交流の場の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ファーマーズマーケット事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内および連携中枢都市圏の農家中心に、対面販売の場所を設置した。(テント又は屋内)</li> <li>・土日祝日の営業とし、出店は無料とした。</li> <li>・会員募集を継続して行った。</li> </ul> </li> <li>▶さとらんど市場 <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内および連携中枢都市圏の農産物を中心に、地産地消の品ぞろえで、毎週販売提供を実施した。</li> <li>・催事のテーマや旬の野菜を取り揃えて、お客様に提供した。</li> </ul> </li> </ul>	<p>仕様書に従って事業を行った。名称を「丘珠まるしえ」へ変更し、近隣農家へ出店を募った。また、冬期はさとらんどセンターで販売を行った。</p>	<p>仕様書に従い事業を実施したほか、構成会社がつなぐノウハウを活かし、丘珠まるしえを実施したことを評価する。</p>
<p>▽都市型農業を活性化させるための業務</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶バスツアー事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・札幌市内近郊をめぐるバスツアーを実施した。</li> </ul> </li> <li>▶スマート農業勉強会の立ち上げ <ul style="list-style-type: none"> <li>・農業用ドローンやロボット運搬車の実演など勉強会立ち上げの準備を行った。</li> </ul> </li> </ul>	<p>バスツアーを実施し、2階テラスにてランチを提供した。</p>	<p>仕様書、計画書に従い事業を実施したことを評価する。</p>
<p>▽農業に関する情報収集及び提供業務</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶農業に関する情報収集提供 <ul style="list-style-type: none"> <li>・農業関連雑誌の購読、農業新聞契約を行い、2階レストランにて配架した。</li> <li>・札幌黄物語などデジタルサイネージを活用し、情報提供した。</li> <li>・ホームページを改修し、さとらんどの今を一目でわかるように変更した。</li> <li>・札幌保健医療大学などと連携し、食育の情報を提供した。</li> </ul> </li> </ul>	<p>サイネージはセンターホール、交流館に配置しレクリエーションや農業についての情報を放送した。ホームページはスマホを使う方をメインターゲットとして再構築し、改修を行った。</p>	<p>利用者目線でのホームページ改修(構成や内容の修正)を行い、非常にわかりやすい情報提供を行った。独自に札幌伝統野菜である札幌黄を紹介する動画を作成し、さとらんどのデジタルサイネージで情報提供したことなど、積極的な農業啓発を行ったことを高く評価する。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>▶農業振興イベントの開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>農畜産物への理解を深め、地産地消への認識・理解を促進するほか、市民に対し、魅力あるさとらんどの認識を向上させるため、多くのイベントを開催した。</li> <li>今年度は34回(主催18回、共催16回)の農業振興イベントを開催し、イベント入園者数は518,330人、前年度(155,750人)比約333%(362,580人増)となった。</li> <li>・農産物の旬をとらえて、メロン、スイカ、タマネギ、カボチャ、新米など季節の野菜に合わせたイベントを開催した。</li> <li>・サツラク、花市場、JA、サツドラなどとの連携したイベントも開催し好評を得た。</li> <li>・クリスマス、新年、ひなまつりなど、季節の行事に合わせたイベントも開催した。</li> <li>・共催イベントを積極的に開催し、道内農業高校の生徒による活動報告を行うなど、農業振興に寄与する主催イベントとは異なる内容でのイベントを開催した。</li> </ul> </li> </ul>	<p>農畜産物への理解を深め、「地産地消」への認識・理解を促進するイベント事業を実施した。令和5年度は、34回(主催18回、共催16回)の農業振興イベントを開催した。</p>	<p>さとらんどの設置目的である農業の振興への寄与を目指し、多角的な内容で非常に多くのイベントを企画し実施した。多くのイベントを実施し、魅力あるさとらんどというイメージの向上が図れたと考える。入園者数も非常に多かったので、高い評価とする。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>▶市民農業講座に係る企画運営 <ul style="list-style-type: none"> <li>・さっぽろ農学校入門コース <ul style="list-style-type: none"> <li>家庭菜園や市民農園を楽しみたい方用の座学講座を開催した。(日曜日全36回)</li> </ul> </li> <li>・さっぽろ農学校専修コース <ul style="list-style-type: none"> <li>専用圃場を利用した、基礎的な農業を学ぶ講座を開催した。(土曜、水曜日全42回)</li> </ul> </li> <li>・栽培講習会 <ul style="list-style-type: none"> <li>モデル農園を活用した現地での栽培講習会を開催した。(全8回)</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>	<p>入門コースは71名、専修コースは26名で講座を実施した。</p>	<p>仕様書に従い事業を実施し、魅力ある講義の開催に努めたことを高く評価する。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>▶農体験リーダーの派遣 <ul style="list-style-type: none"> <li>・専修コース卒業生など一定の農業知識のある方を農体験リーダーとし、市内の小学校に派遣し、野菜栽培の楽しさを伝えた。</li> </ul> </li> </ul>	<p>派遣した学校・NPO法人は35箇所、派遣総回数は183回、参加総人数5,351人だった。</p>	<p>仕様書に従い、また学校等と調整を適切に行い、事業を実施した。また、経験豊かな相談員により充実した相談体制としたことを評価する。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>▶園芸相談業務 <ul style="list-style-type: none"> <li>・園芸専門員を常駐させ、電話などによる質問に答えた。</li> <li>・土日祝は、市民農園を巡回し、利用者へアドバイスを行った。</li> </ul> </li> </ul>	<p>栽培相談件数は4,725件(対前年度4,297件)で前年より428件増加した。</p>	

	<p>▽その他さとらんどを設置目的を達成するために必要な業務</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶農業支援センターで生産された農産物の売払い</li> <li>▶アスパラ、イチゴなど生産物をさとらんど売店にて販売した。</li> <li>▶冬期施設活用事業</li> <li>・冬期の利用客の増加のため、バナナポート、馬そり、エサやりなどを実施した。</li> <li>・観光関連補助事業を活用して、北海道鍋祭り、かまくらイルミを行い、集客に努めた。</li> <li>▶キッズコーナー</li> <li>・大型遊具や戸外などで遊べない幼児を対象に、木製のおもちゃを設置し遊んでいただいた。</li> </ul>	<p>さとらんどセンターで農産物の売払いを行った。冬期事業は従来のレクリエーションに加え、トラクター遊覧車とスノーシューの貸出しを新たにを行った。</p>	<p>仕様書に従い、農産物の売り払いを行い、新鮮な農産物の魅力を伝えた。冬期事業は、自ら詳細な企画をし、観光関連補助を活用するなど、これまででない事業を展開したことを高く評価する。</p>																											
<p>(5)施設利用に関する業務</p>	<p>▽ 利用件数等</p> <table border="1" data-bbox="414 526 925 683"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>R4年度実績</th> <th>R5年度計画</th> <th>R5年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">さとらんどセンター</td> <td>件数(件)</td> <td>979</td> <td>900</td> <td>1003</td> </tr> <tr> <td>人数(人)</td> <td>2222</td> <td>1100</td> <td>3528</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">さとらんど交流館</td> <td>件数(件)</td> <td>331</td> <td>150</td> <td>528</td> </tr> <tr> <td>人数(人)</td> <td>466</td> <td>250</td> <td>30</td> </tr> </tbody> </table> <p>▽ 不承認0件、取消し0件、減免12件、還付0件</p> <p>▽ 利用促進の取組</p> <p>注1:件数は、指定管理業務による利用を含む。人数は、貸室利用の人数である。(イベント等による利用について人数の計測が出来ない為)</p> <p>センター 前年比 利用件数 +24件 センター 前年比 利用人数 +1306人 交流館 前年比 利用件数 +197件 交流館 前年比 利用人数 -436人</p>			R4年度実績	R5年度計画	R5年度実績	さとらんどセンター	件数(件)	979	900	1003	人数(人)	2222	1100	3528	さとらんど交流館	件数(件)	331	150	528	人数(人)	466	250	30	<p>センターと交流館でそれぞれ利用件数は増えた。交流館の人数については社内での利用数が多く、貸室利用としての人数が少なかった。</p>	<table border="1" data-bbox="1173 504 1348 526"> <tr> <td>A</td> <td style="background-color: yellow;">B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> </table> <p>条例、規則、要領に基づき適正に業務を行ったものと評価する。</p>	A	B	C	D
		R4年度実績	R5年度計画	R5年度実績																										
さとらんどセンター	件数(件)	979	900	1003																										
	人数(人)	2222	1100	3528																										
さとらんど交流館	件数(件)	331	150	528																										
	人数(人)	466	250	30																										
A	B	C	D																											
<p>(6)付随業務</p>	<p>▽ 広報業務</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広報さっぽろ、ホームページ、旅行雑誌、各種新聞、テレビ、ラジオなど多くの情報媒体を通じて、施設のお知らせを実施した。掲載件数は、147件だった。</li> <li>さとらんどをPRするためにSNSでの取り組みを継続し、Facebook、Instagram、LINEにて、園内情報を始め、各事業のお知らせや現況等を写真や動画で発信し、情報発信と広報の充実にも努めた。</li> </ul> <p>▽ 引継ぎ業務</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前指定管理者から業務を引き継ぐにあたり、令和5年1月から準備室を設け、円滑な管理運営に努めた。</li> <li>・継続的に必要な事務系の備品などについては、前指定管理者から譲渡を受けた。</li> </ul>	<p>マスコミ各社へ積極的に働きかけを行ってテレビや新聞で数多く報道して頂いた。広報の充実と情報発信の強化に努めた。</p> <p>前指定管理者から引継ぎ業務を実施した。</p>	<table border="1" data-bbox="1173 963 1348 985"> <tr> <td>A</td> <td style="background-color: yellow;">B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> </table> <p>テレビ、新聞等のマスメディアのほか、子育て情報誌へ積極的に情報提供し、入園者数増となるよう努めたことを評価する。また、さとらんど公式SNSを運営し、情報発信に努めたことを評価する。</p> <p>前指定管理者と密に調整し、市民の利用に影響なく業務の引継ぎを行ったことを評価する。</p>	A	B	C	D																							
A	B	C	D																											
<p>2 自主事業その他</p>																														
	<p>▽ 自主事業</p> <p>さとらんど利用者へのサービス向上のため、各種自主事業を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶売店 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ソフトクリーム、ぐんぐんのオリジナルグッズ、札幌スタイル製品、木育おもちゃなどの販売を行った。売上1359万円でした。</li> </ul> </li> <li>▶レストラン <ul style="list-style-type: none"> <li>・カレーのまちさっぽろ推進委員会との協働で設置します。地元農産物を使用したスープカレーなどを提供した。</li> </ul> </li> <li>▶パークゴルフクラブ貸出 <ul style="list-style-type: none"> <li>・初心者や観光客のためクラブの貸し出しを行った。</li> <li>・売上75万円(前年度比109%)でした。</li> </ul> </li> <li>▶飲料水自動販売機</li> <li>・給水ステーション、熱中対策として活用していただくため設置した。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶エサやり <ul style="list-style-type: none"> <li>・動物との触れ合いを目的として、エンジンのエサやりを行った。</li> <li>・売上316万円(前年度比128%)でした。</li> </ul> </li> <li>▶仮設売店 <ul style="list-style-type: none"> <li>・炊事広場に隣接した売店で、食材、簡易焼き台などの販売を行った。業務委託として売上43万円でした。</li> </ul> </li> </ul>	<p>売店について前年度は業務委託として実施していたため、今年度より販売物収入が1359万円でした。</p> <p>パークゴルフクラブの貸出しは増えた。給水ステーションは来園者に好評のため、継続して令和6年も実施する。</p> <p>夏期に行っていたえさやりを冬期1～2月実施したこともあり、売上が増えた。</p>	<table border="1" data-bbox="1173 1478 1348 1500"> <tr> <td>A</td> <td style="background-color: yellow;">B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> </table> <p>さとらんどを設置目的を踏まえ、また感染症対策に取り組みながら、事業を実施し、計画よりも大幅に利用料増となったことを評価する。売店事業においては、障がい者活動団体による運営を行い、福祉協働を実施したことを評価する。</p>	A	B	C	D																							
A	B	C	D																											

<p>▶おもしろ自転車          ・雨水調整池の有効利用とレク充実のため、変形自転車各種の貸し出しを行った。業務委託として売上65万円でした。          ▶5インチ鉄道          ・レク充実のために、ミニ新幹線の導入を行った。業務委託として売上10万円でした。          ▶クレーンゲーム          ・レク充実のために、家畜や動物のぬいぐるみのUFOキャッチャーを導入した。売上30万円でした。          ▶カプセルトイ          ・レク充実のために、動物や北海道土産のガチャガチャを導入した。売上3万円でした。</p> <p>▽ 市内企業等の活用、福祉施策への配慮等          ・市の役務、物品購入などの登録者優先に、修繕、委託を実施した。          ・緑地の清掃などは、一部福祉施設へ委託した。また、売店従業員も依頼した。</p>	<p>それぞれ業務委託として手数料収入とした。</p> <p>市内企業の活用に積極的に取り組んだ。福祉団体へ業務の委託や印刷物の発注を行う等、福祉施策への配慮を心掛けた。</p>	<p>適切な配慮を念頭に事業展開を行ってきたものと評価する。</p>
---	---	------------------------------------

3 利用者の満足度

<p>▽ 利用者アンケートの結果</p>		<p>各アンケート結果は、仕様書の要求水準の80%を超える満足度となった。イベントの満足度のみ業務計画書で掲げた90%を超えることが出来なかった。</p> <p>利用者からの要望と対応については、早急に対応可能なものは早急に設置した。導入にあたってコスト・期間がかかるものについては検討し実施予定とした。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4"> <p>各事業ごとに詳細にアンケートを実施し、利用者意見の分析及び事業の改善に活用し、総合満足度が80%を上回ったことを評価する。各事業で工夫を凝らして市民サービスの向上に努めた結果により、指定管理者としての目標値90%をイベント事業以外では、達成したことを評価する。</p> <p>利用者要望を受けて、業務改善を実施していることを評価する。</p> </td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	<p>各事業ごとに詳細にアンケートを実施し、利用者意見の分析及び事業の改善に活用し、総合満足度が80%を上回ったことを評価する。各事業で工夫を凝らして市民サービスの向上に努めた結果により、指定管理者としての目標値90%をイベント事業以外では、達成したことを評価する。</p> <p>利用者要望を受けて、業務改善を実施していることを評価する。</p>			
A	B			C	D						
<p>各事業ごとに詳細にアンケートを実施し、利用者意見の分析及び事業の改善に活用し、総合満足度が80%を上回ったことを評価する。各事業で工夫を凝らして市民サービスの向上に努めた結果により、指定管理者としての目標値90%をイベント事業以外では、達成したことを評価する。</p> <p>利用者要望を受けて、業務改善を実施していることを評価する。</p>											
<p>実施方法</p> <p>結果概要</p> <p>利用者からの意見・要望とその対応</p>	<p>4～3月に実施。一般利用者、各種体験・講座参加者、イベント開催時の参加者に等に向け、利用状況に応じてアンケートを実施した。アンケートの有効回答の総数は2,122通。</p> <p>・総合満足度は、少し不満と回答された方が0.3%、普通が7%、満足・とても満足が92.7%だった。満足・とても満足は目標値の2.7%を超える高い結果となった。</p> <p>・職員の接遇に関するアンケートは、あまり良くなかったが0.1%、普通が7.7%、大変良かった・まあ良かったが92.2%で、目標値より2.2%高い結果となった。</p> <p>・各種体験、講座参加者の満足度は、不満・やや不満が1.2%、普通が3.4%、満足・やや満足が95.4%で目標値を5.4%上回る数値となった。</p> <p>・イベントの満足度は、やや不満が0.6%、普通が11.9%、満足・やや満足が87.5%で、目標値よりやや下回る結果となった。</p> <p>【要望】          駐車場の案内板が不明瞭である。          【対応】          冬期期間は特に見えにくくなるので、簡易看板を数か所設置しました。</p> <p>【要望】          プレイパークの実施回数を増やしてほしい。          【対応】          R6年は4月から開催し、前年より回数を増やしました。</p> <p>【要望】          クレジットやQR決済を導入してほしい。          【対応】          R6年に一部導入予定。</p> <p>【要望】          ホームページをわかりやすくしてほしい。          【対応】          R6リニューアルを実施。</p>										

4 収支状況			
▽ 収支 (千円)			
項目	R5年度計画	R5年度決算	差(決算-計画)
収入	285,000	330,145	45,145
指定管理業務収入	279,800	307,117	27,317
指定管理費	238,000	244,020	6,020
利用料金	12,938	21,466	8,528
その他	28,862	41,631	12,769
自主事業収入	5,200	23,028	17,828
支出	284,453	384,194	99,741
指定管理業務支出	279,424	361,342	81,918
自主事業支出	5,029	22,852	17,823
収入-支出	547	▲ 54,049	▲ 54,596
利益還元			0
法人税等			0
純利益	547	▲ 54,049	▲ 54,596
▽ 説明			
<p>▼収入について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用料金収入は、パークゴルフ・レンタサイクルを除く、SLバス(前年度比130万円)・馬車(11万円)・引き馬(14万円)が増収となった。</li> <li>・手づくり体験業務の収入では、アイスクリームの実施回数を増やし、客単価があがり前年比で200万円増収だった。</li> <li>・自主事業収入は、初めての自転車教室やクレーンゲーム・カプセルトイなどの新規のものがあつた。</li> </ul> <p>▼支出について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人件費や物件費で予算を上回り、約1億円の増額となった。</li> <li>・新規事業(自転車教室など)の初期費用や園内設備の修繕などを行ったため、計画段階より上回る支出となった。</li> </ul> <p>▼令和5年度収支の現状と改善について</p> <p>令和5年度の収支状況については、収入よりも支出が多く約5千万円の損失が出る状況です。</p> <p>損失の主な要因としては、当コンソーシアムとしてさとらんど運営の初年度にあたり、人件費・物件費ともに予定を大きく上回ったことにあります。人件費増の要因については、事業の継続性を確保するため、これまでの職員数を維持することや引き続き従事していただけるよう給与を一定額増加したことなどがあげられます。</p> <p>また、物件費については、4月の夏期営業スタートに合わせた新規レクの準備や外構の整備、各種イベント開催などに多額の費用を使ったことがあげられます。</p> <p>令和6年度については、職員数を適正な規模にし、人件費を抑制することに加え、外構整備費用などを抑え、物件費の削減に努めることで、黒字化を進めていく所存です。</p> <p>またコンソーシアム各4社それぞれの経営状況は堅調に推移しており、さとらんどを運営するにあたりまったく問題ありません。さらに、令和6年6月までのさとらんど収入は、昨年より15%増となっております。</p>			
		<p>・収入について</p> <p>利用料金収入は、約850万円の増収だった。その他収入は、計画比1,270万円の増収だった。</p> <p>指定管理業務収入全体では計画比約2,730万円の増収だった。</p> <p>自主事業収入は、計画比約1,780万円の増収だった。</p> <p>収入全体では、計画比約4,500万円の増収となった。</p>	<p>A B C D</p> <p>指定管理者の更新(事業者の変更)により、さとらんど運営の初年度であったこともあり、人件費・物件費ともに大きな費用増が生じたことは認める。</p> <p>しかし、それ以外にも事業計画から支出費用が大きく増えていることは、適切な収支管理ができていない状況である。</p> <p>次年度以降、支出内容について分析、改善を行い、適切な管理運営となるよう最大限努めること。</p> <p>収入が、事業計画から大きく増加したことは評価する。</p>
		<p>・収入について</p> <p>指定管理業務支出は計画比約4千5百万円の増額であった。</p> <p>・支出について</p> <p>指定管理業務支出は計画比約1億円の増額であった。</p> <p>支出全体では約1億円の増額となった。</p> <p>・収支について</p> <p>全体の収支は約5千4百万円の赤字となった。</p> <p>・令和6年度以降、赤字収支とならないよう、令和5年度状況を基に改善し、適正な収支管理を行っていく。</p>	

<確認項目> ※評価項目ではありません。			
▽ 安定経営能力の維持	当団体の財務状況等に問題は無く、安定経営能力を維持している。	安定経営を継続して行う。	適 不適
▽ 個人情報保護条例、情報公開条例、行政手続条例、オンブズマン条例及び暴力団の排除の推進に関する条例への対応	各条例の規定に則り、全て適切に対応した。	条例に則り、適切な管理運営を行った。	適 不適

## Ⅲ 総合評価

【指定管理者の自己評価】	
総合評価	次年度以降の重点取組事項
<p>令和5年度の来園者数は71万人で目標とする60万人を超える結果となった。これは、魅力あるさとらんどという認識を浸透させるよう、様々な企画を実施してきた結果と思われる。</p> <p>利用者アンケートによる満足度は、4項目全てで仕様書の目標値である80%を達成した。中でも総合満足度、職員の接遇に関する満足度、各種体験・講座等に関する満足度の3つは90%以上を記録し、満足度の高い運営を達成出来た。</p> <p>広報活動には重点的に取り組み、マスコミ各社へ積極的に働きかけを行ってテレビや新聞で数多く報道して頂いた。また、SNSの取り組みを強化しアドバイザー監修の下、さとらんどの魅力のPRに努めた。</p> <p>以上を総合的に考慮し、良質で良好な管理運営を実施したと判断する。</p>	<p>令和6年度は目標とする来園者数65万人を達成するため、引き続き広報活動に重点を置いて、SNSを活用しさとらんどへの新規・リピーター・子育て家族・旅行者などターゲットを絞って行う。</p> <p>コンソーシアムで掲げる利用者アンケート4項目全てで満足度90%以上を達成できるよう、内容を工夫して実施する。</p> <p>指定管理初年度は事業への投資・資材購入などで費用がかさんだが、2年目以降は財務を黒字化できるよう取り組む。</p> <p>札幌市のさとらんど再整備計画の推進にあたり、積極的に関わっていく。</p>

【所管局の評価】	
総合評価	改善指導・指示事項
<p>指定管理者の更新(事業者の変更)に伴い、新しい体制での管理運営となったが、前指定管理者従事員を積極的に採用するなど、事業者の変更による市民サービスの低下が生じないよう努めていた。</p> <p>さらに、農業の振興およびさとらんどの魅力向上に寄与するよう、様々な企画や新しい取組を積極的に実施したことは高く評価できる。その結果、目標値を超えた非常に多くの入園者数となったと考える。</p> <p>一方、収支状況は、収入、支出共に計画よりも大きく増加し、特に支出の増加が多く、高額の赤字決算となっていることは、適切な経営管理とは言えない状況であると考えます。</p> <p>指定管理2年目となる令和6年度は、初年度の問題点を改善できるよう取組みながらも、引き続き、積極的に企画等を実施していただきたいと思う。</p>	<p>支出について、業務計画から大きく増加し、収支も大きな赤字となっていることから、令和6年度は、令和5年度の問題点を分析し、適切な収支状況となるように改善すること。そのために、収支状況を都度確認する役割のものを配置するなど、確認体制を確率すること。</p>